

令和6年度タウンコネクト実証実験(地域コミュニティのDX)

取組内容

令和6年9月9日(月)より近江八幡市連合自治会の幹事(10自治会)でタウンコネクトの実証実験を開始。市連合自治会では、タウンコネクトの機能のうち、「お知らせ」「問い合わせ」の2機能を利用した。

タウンコネクトとは

- ・自治会と行政が双方向にやり取りすることができるシステム。
- ・市役所の開庁時間以外でも書類の提出や問い合わせができる
- ・お知らせや問い合わせの内容がタウンコネクト内に蓄積されるため自治会のデータベースとしても活用できる。

活用状況

お知らせ :10件
問い合わせ:2件

使用用途(お知らせ)

定例会議の議事録共有	5件
調査依頼	1件
軽微なお知らせ	6件

良かった点

議事録作成後の共有が早くなった。
資料の印刷や発送、電話の手間が減った。

導入まで至らなかった理由

自治会長全員が確認できていないため、並行して郵送や学区自治連合会事務局への共有が必要。
メールとの差別化が図れなかった。